



医療法人社団 仁恵会

石井病院

人工透析ひ尿器科じんけいクリニック

Now

Vol.205

- Since 2008

JINKEIKAI NEWSPAPER

発行：2025.4

◆ 新年度のご挨拶 石井病院 院長 石井 洋光

2025年度（令和7年度）にあたり、ご挨拶申し上げます。

本年度、当院は「**地域に喜ばれる在宅療養支援病院を目指す！**」を目標とし、昨年2024年5月に立ち上げた「在宅支援ステーション」を中心に、医療・介護・福祉の相互連携を強化し、サポートできる体制づくりに努めて参ります。

さらに、地域の高齢者救急等、急性期から慢性期医療まで幅広く対応できるケアミックス機能を持つ地域密着型病院として、外来診療、入院治療、低侵襲な手術、健診事業、継続的な訪問診療・看護、通所リハ、入院、退院後の一貫したリハビリテーションに取り組んでいます。

また、患者さま、ご家族様のお悩み相談や介護・福祉サービス等のご提案窓口などを提供しています。

当院は今後も、地域包括ケアシステムを支えるこれまでの病院・クリニックとの在宅支援を含めた連携はもちろん、行政や医師会等の連携に積極的に取り組み地域の皆様に安全・安心、信頼される医療・介護を提供していく所存ですので、引き続きご支援ご協力を賜りますようお願いいたします。



理事長・院長
いしい ひろみつ
石井 洋光

◆ 透析の医療費負担について ～ 兵庫県の場合 ～

現在、1ヶ月の透析治療の医療費は、患者さま一人につき外来血液透析では約40万円、腹膜透析（CAPD）では30～50万円程度が必要といわれています。

このように透析治療の医療費は高額ですが、患者さまの経済的な負担が軽減されるような様々な公的助成制度があります。大きく分けると2つあり、**医療保険制度による高額療養費**、そして**自立支援と福祉医療からなる福祉制度**です。

ただし、**福祉医療**は自治体が独自に行っている制度であるため、身体障害者手帳（以下、身障手帳）の等級や申請時の年齢、所得などによる基準が各自治体で異なり、お住まいの地域で助成の内容が変わってきます。

つまり、「患者さまによって透析の医療負担額の違いはあるのか？」という答えは、その患者さまが地域の**福祉医療の対象**になっているかどうかで違ってきます。



（石井病院透析室：10床）

～ 兵庫県の福祉医療について ～ 以下の表は、兵庫県における福祉医療の内容です。

対象 (身障手帳)			所得制限 本人（単身）の収入ベース		年齢制限	自己負担	入院 食事 助成	給付方法	高齢者医療 加入条件
1級	2級	3級	あり	準用：自立支援医療	なし	あり		現物	後期高齢者医療制度への加入の有無にかかわらず助成可
○	○	不可	市町村民税所得割税額 23.5万円以上 基準年収：約833万円以上		新規申込 65歳以上も可	下記参照	なし	窓口で医療費の立替え払いの必要なし	

自己負担 外来：1 医療機関等あたり 600円/日（低所得者 400円/日）を限度に月2回まで負担
入院：1 割（月額上限 2,400円/低所得者 1,600円）

※ 連続して3ヶ月を超える入院の場合は4ヶ月目以降は負担徴収なし

※ 低所得者：年金収入80万円以下もしくは年金収入加えた所得80万円以下の方



結果として、兵庫県にお住まいの透析患者さまで **福祉医療の対象** となる方は **身障手帳の等級が1級、2級** で、障害者さま本人（単身）の年収が **約833万円未満** であることが条件となります。（2025年3月現在）

なお、市町によって、所得制限、助成内容が異なる場合がありますので、詳しくは、お住まい地域の福祉医療担当課にてご確認および申請手続きを行ってください。

石井病院 最新のマンモグラフィ（乳房X線撮影）機器を導入しました

当院では、2025年3月より“日本人女性のために開発した”最新の国産マンモグラフィ機器を導入しました。

この機器は、最新式FPD（直接変換方式フラットパネルディテクタ）を搭載しており、高画質診断による早期乳がんの発見が可能、さらには放射線量の低減、検査時間の短縮ができ、体に優しい検査が行えるようになりました。

また、受診される女性が触れる部分には威圧感がない丸みをおびた形状（ラウンドフォルム）のデザインを採用することで、見た目や触れ心地も良く安心して検査を受けていただけます。

さらに、新たに採用された「圧迫システム」により乳房に急激な圧力がかかる心配がない痛みの少ない検査が可能となりました。

今や日本人の9人に1人は乳がんと診断されています。しかし、早期発見・治療で約90%が治ると言われています。まずは、早期発見のために定期的に「**乳がん検診**」を受けましょう！



乳房X線撮影装置
MGU-1000D



人工透析ひ尿器科じんけいクリニック ～ 新年度のご挨拶 ～

皆さま、新年度を迎え、日頃より、当院の透析医療にご理解とご協力を賜り、心より感謝申し上げます。

当院は、患者さま一人ひとりの健康と生活の質の向上を目指し、安心して透析を受けられる環境づくりに努めております。透析治療は、単に医療行為にとどまらず、患者さまの生活全体に関わるものです。そのため、医師・看護師・臨床工学技士・管理栄養士・事務をはじめとする多職種が連携し、より良い医療サービスを提供してまいります。

また、本年度はさらなる医療の質の向上を目指し、以下の取り組みを進めてまいります。

1. 透析中の運動療法も計画していきます。
合併症の予防や治療の個別最適化を推進します。
2. チーム医療の強化
スタッフ間の連携をさらに深めることで、患者さま一人ひとりに最適なケアを提供できる体制を整えてまいります。特に、栄養管理やフットケアの強化に力を入れ、透析患者さまの健康維持に貢献します。
3. 地域医療との連携
関連病院（石井病院）、高次医療機関や血管外科クリニックとの連携をより一層強化し、透析患者さまのスムーズな受診や緊急対応を可能にする体制を整えます。さらに、地域の医療機関や介護施設、また薬局との情報共有を進め、患者さまの生活を包括的に支える仕組みを構築します。
4. 患者さま・ご家族への情報提供の充実
透析治療や合併症予防に関する相談会を開催し、患者さまとご家族が安心して治療を継続できるよう努めます。また、オンラインや院内掲示を活用し、最新の医療情報を発信していきます。

新年度を迎え、スタッフ一同、より良い透析医療を提供するため、一層努力してまいります。皆さまにとって安心して快適な医療環境を提供できるよう努めますので、今後とも変わらぬご支援・ご協力を賜りますようお願い申し上げます。



人工透析ひ尿器科
じんけいクリニック
院長
おはら いちろう
小原 一朗

■ 医療連携相談室

TEL 078-918-1512 FAX 078-918-1725
平日 9:00～12:00 14:00～17:00
土曜 9:00～12:00
担当 井口 上野 森

編集・発行

医療法人社団 仁恵会 石井病院 広報委員会
〒673-0881 明石市天文町1-5-11
TEL 078-918-1655 FAX 078-918-1657
<https://jinkeikai-group.or.jp/ishii/>